



神戸で名水シンポジウムが開催

「名水シンポジウム」は、「名水百選」を通じて、水質保全への意識を高め、水環境の保護の推進を図ることを目的に毎年開催されてきました。名水百選は、水質、水量、景観などの観点からみて保全状況が良好なことで、地域住民による保全活動が行われていることを必須条件に選定されたものです。

シンポジウムの主催者は、名水百選に選定された市町村からなる全国水環境保全市町村連絡協議会と地元市町村です。名水百選が選定された昭和60年から、毎年、連絡協議会の持ち回りで開催されてきました。

今年のシンポジウムは、兵庫県神戸市で「名水サミット in 神戸」という名称で5月16日(金)から17日(土)に神戸国際会議場で開催されます。神戸市では、「布引(ぬのびき)溪流」が名水百選に選定されています。六甲山に源を発するこの溪流は、神戸市中央区を流れる生田川の一部で、古来より和歌にも詠まれてきた名所です。

16日のシンポジウムのテーマは「それぞれにとっての名水」で、基調講演とパネルディスカッションが行なわれます。17日には布引溪流の貯水池や重要文化財のアーチ式ダムなどを巡る「名水ツーリズム」も予定されています。参加希望の方は、神戸市環境局環境保全指導課(TEL 078-322-5309)までお問い合わせください。



来て見て発見！ みどりフェスタ

「みどりの月間」(2008年4月15日～5月14日)の期間中の4月29日に、「2008新宿御苑みどりフェスタ(みどりフェア&国立公園フェア)」が新宿御苑で開催されます。「みどりの月間」は、自然に親しみ、その恩恵に感謝するという「みどりの日」の趣旨を知ってもらうために設置された月間です。この期間には、自然に親しむための関連イベントが全国で開催されます。

このフェスタでは、さまざまな自然とのふれあいに関する情報の提供や、苑内での自然観察会、ネイチャーゲームなど新宿御苑の豊かな自然とふれあう「みどりフェア」や、全国の国立公園の紹介を行う「国立公園フェア」が開催されます。

「国立公園フェア」では、国立公園の魅力を伝える写真展示や、地方関係団体による観光情報の提供、国立公園周辺で産出された山菜類や民芸品の販売も行われます。また、上信越高原国立公園からは、妙高高原の雪を運び込む予定もあり、直接雪に触れることができます。自然とふれあい、国立公園の魅力を発見するために是非ご来苑ください。

イラストレーション/タニダリョーコ

民間のアイデアを 政策づくりに活かす

環境政策の立案や実施において、幅広い関係者の参加と合意を図ることはますます重要になってきています。環境省では、市民・NGO/NPO、企業、自治体との連携・協働を図るため、「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」を設置。「民」の発想を実際の政策に活かすことを目指して、平成13年度から環境政策への提言を募集・選考しています。

これまでの提言から、「リユースカップの利用による循環型社会づくり」や「既存校舎のエコリノベーション&環境教育」などが採用され、実際の政策として実を結びました。第7回を迎えた今年も、「低炭素社会づくりへの取り組み」や「生物多様性の保全を通じた自然共生社会づくり」などのテーマで、環境政策提言を募集しました。

優秀提言の中から、実現可能性の高い提言については、環境省と提言団体が協力して、事業化に向けてのフィージビリティ調査を行い、政策への反映を支援していきます。今年56件の募集があり、「生物多様性保全のための企業とNGOのパートナーシップ形成支援政策」(特定非営利活動法人国際環境NGO FoE Japan)、「全国エネルギー予報と家庭向け省エネサポート」(財団法人省エネルギーセンター/株式会社環境エネルギー総合研究所)が優秀提言に選ばれました。



生物多様性シンポジウム in北海道

現在、地球温暖化対策と並んで、忘れてはならない大きな課題となっているのが、生物多様性の保全です。地球温暖化が人類の生存や社会の発展に対する脅威だとすれば、生物多様性の危機は人類を含めすべての生命の基盤そのものを脅かす問題です。生物の多様性が保たれているからこそ、わたしたちは豊かな生活を送り、文化を育むことが出来るのです。

こうした生物多様性の意義を考えるシンポジウムが、5月24日(土)に北海道大学クラーク会館講堂において、開催されます。テーマは、「北海道の未来を拓く生物多様性 ～自然環境を活かした地域づくり～」です。トークショーでは、女優の中嶋朋子さんに北海道の自然の魅力について語ってもらいます。その後、専門家やNGOスタッフなどにより、生物多様性がもたらす魅力ある地域づくりについてのパネルディスカッションが行われます。

環境サミットとも言われるG8サミットが開催される北海道の地で、北海道ならではの自然環境や生物の多様性を活かした地域発展のあり方を考えます。参加ご希望の方は、環境省自然環境局国立公園課(連絡先: JILA@env.go.jp)までお問い合わせください。

